

## 「広島大学現代インド研究－空間と社会」執筆要領（2016年10月改訂）

### 1. 原稿の種類別

論説，研究ノート，フォーラム，書評

### 2. 原稿の長さ

図表を含めた刷り上りページ数は，原則として次のように制限します。なお，刷り上り1ページは，400字詰め原稿用紙5.5枚分です。

論説：刷り上り12ページ以内（400字詰め原稿用紙で66枚程度）

研究ノート：刷り上り10ページ以内（400字詰め原稿用紙で55枚程度）

フォーラム：刷り上り10ページ以内（400字詰め原稿用紙で55枚程度）

書評：刷り上り2ページ以内（400字詰め原稿用紙で11枚程度）

### 3. 原稿の送付

送付状に必要事項を記入し，オリジナル原稿1部とそのコピー1部を広島大学現代インド研究センター宛に送付してください。

### 4. 原稿の校正

原則として，著者校は初校のみとし，その後の校正は広島大学現代インド研究センターが行いません。

### 5. 掲載原稿の返却

掲載された原稿は，原則として著者に返却いたしません。ただし，図・写真等とくに返却を希望するものについては送付状に記入してください。

### 6. 原稿の体裁

- (1) 執筆にあたっては，原則としてワードプロセッサによる原稿をお願いします。
- (2) 人名・術語等の特別なもの以外は当用漢字・新かなづかいを使用してください。
- (3) 年号は原則として西暦を使用し，元号等は（ ）に入れて記してください。
- (4) 動植物等の学名は斜字体（イタリック）を用い，なるべく和名を併記してください。
- (5) 数式の表示は2行分を用いてください。
- (6) 論説，研究ノート，フォーラムともに，原稿には日本語による題名，著者名，欧文による題名，著者名，日本語要旨（400字以内），日本語キーワード（5個程度）を記入して下さい。
- (7) 論説，研究ノートには，校閲を経た欧文要旨とそれに対応する邦文を添えてください。
- (8) 章の番号はローマ数字の太字体（ボールド）で，節の番号はアラビア数字で記入してください。  
[例] 章：Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ，； 節：1，2，3，
- (9) 特殊な活字は，斜字体（イタリック）を赤色の下線により，太字体（ゴシック・ボールド）を赤色の波下線~~~~により，また，ギリシア文字をαギリなどの表示によっても指定することができます。

### 7. 注・引用文献

- (1) 注は本文中の当該箇所の右肩に<sup>1)</sup>・<sup>2)</sup> .....のように示してください。
- (2) 本文中の文献の引用は次のように記してください。
  - ・引用文献の著者が1人の場合
  - [例] 梅原（1989，p.1）によれば.....

.....である(中里, 1989)。

これらの研究(中山, 1989; Nakayama, 1995)によると...

- 引用文献の著者が2人の場合

[例] 南埜・藤原(1992)は.....

Fujiwara and Sharma (1992) は

- 引用文献の著者が3人以上の場合

[例] 中里ほか(1992)は.....

Nakasato et al. (1992) によると...

- (3) 注および引用文献はそれぞれ分けて、注を先、引用文献を後にして末尾に一括して記載してください。なお、引用文献の記載に際しては次の規定に従ってください。

- \* 邦文の文献を先、欧文の文献を後とし、前者は50音順、後者はアルファベット順に並べる。
- \* 複数の著者による文献でも、著者名を省略せず全著者名を列記する。
- \* 同一の著者による同一年に公表された異なる文献が複数引用されている場合は、各文献の公表年に続けて、引用順にa, b, c.....と付記して区別する。
- \* 同一著者による複数の文献が連続して現れる場合でも、各文献ごとに著者名を記載する。
- \* 巻号のある雑誌で、巻ごとに通しページになっていれば号数は省略し、号ごとにページが変わる場合には、号数も記す。

- \* 記載例

- 文献が邦文単行本の場合

著者名(西暦出版年): 『書名』 出版社名.

[例] 山口博一(1991): 『地域研究論』 アジア経済研究所.

- 文献が欧文単行本の場合

著者名(西暦出版年): 書名(斜字体). 出版社名, 出版社の所在地名.

[例] Johnston, R. J., Hauer, J. and Hoekveld, G.A. eds. (1990): *Regional Geography Current Developments and Future Prospects*. Routledge, London.

- 文献が邦文編集書の中の一部である場合

著者名(西暦出版年): 論文名. 編集者名編: 『編集書名』 出版社名, 掲載ページ.

[例] 佐藤哲夫(1988): バングラデシュにおける都市システムの形成過程. 河邊宏編: 『発展途上国の都市システム』 アジア経済研究所, 23-49.

- 文献が欧文編集書の中の一部である場合

著者名(西暦出版年): 論文名. 編者名(ed.): 編集書名(斜字体) 出版社名, 出版社の所在地名, 掲載ページ.

[例] Hoekveld, G. A. (1990): Regional Geography Must Adjust to New Realities. Johnston, R. J., Hauer, J. and Hoekveld, G. A. eds.: *Regional Geography Current Developments and Future Prospects*. Routledge, London and New York, 11-31.

- 文献が邦文雑誌の中の一部である場合

著者名(西暦刊行年): 論文名. 雑誌名, 巻数[号数], 掲載ページ.

[例] 森川 洋(1992): 地誌学の研究動向に関する一考察. 地理科学, 47, 15-35.

- 文献が欧文雑誌の中の一部である場合

著者名(西暦刊行年): 論文名. 雑誌名(斜字体), 巻数[号数], 掲載ページ.

[例] Taylor, P. J. (1988): World-systems Analysis and Regional Geography. *The Professional Geographer*, 40, 259-265.

- 文献がウェブサイトの中の一部である場合

著者名(西暦刊行年): 論文名. URL(最終閲覧日: 年 月 日)

[例] 中道圭一・森山昭雄 2005. 三河山地西縁花崗岩丘陵地における二次林植生.

<http://www2.rak-rak.ne.jp/D0AB3812/study/mikawaforest.htm> (最終閲覧日: 2006 年 4

月 11 日)

[例] Aghion, Philippe (2007): The Unequal Effects of Liberalization. Working Paper, London School of Economics. <http://econ.lse.ac.uk/staff/rburgess/wp/abrz.pdf> (accessed June 15, 2013)

## 8. 図・表

- (1) 本文右欄外に必ず各図・表の挿入位置を朱書きしてください。
- (2) 原図・表の大きさは長さで刷り上がりの2倍以内に納まるものとし、A3サイズ以内とします。
- (3) 図・表の刷り上がりの大きさは、一辺を15cm以内としてください。

### ・図

別紙に清書し図の下に表題・説明等をつけたうえ、第1図、第2図のように番号をふる。図はスミ入れをし、文字・数字はレタリング等を用いてなるべく著者が記入してください。また、図の枠は、原則として付けない。製版がそのままでは困難な場合は、書き直しを求めることがあります。

### ・表

別表に清書し、表の上に表題等を付けたうえ、第1表、第2表のように番号をふる。表中の罫線は必要最小限にとどめる。

## 9. ワードプロセッサによる原稿

- (1) A4判用紙を縦に使用し、1ページに40字×30行(1,200字)印刷し、行間・マージン(上下左右とも2cm以上)は十分にあげてください。
- (2) 送付状の所定の欄に、使用されたワープロソフト、OS等を記入してください。
- (3) 論文投稿時には、CD-ROM等の記録メディアは不要です。閲読終了後の最終原稿提出の際にご送付ください。